

岐阜県福祉サービス第三者評価事業評価結果表

① 第三者評価機関名

社会福祉法人岐阜県社会福祉協議会

② 施設・事業所情報

名称：大垣市立墨俣保育園	種別：保育園			
代表者氏名：園長 坂口 潤子	定員（利用人数）：180名（135名）			
所在地：岐阜県大垣市墨俣町上宿483番地1				
TEL：0584-62-5153				
HP：https://www.city.ogaki.lg.jp/soshiki/19-18-0-0-0_10.html				
【施設・事業所の概要】				
開設年月日：昭和23年12月				
経営法人・設置主体（法人名等）：大垣市				
職員数	常勤職員	21名	非常勤職員	11名
専門職員	保育教諭	28名	調理師	3名
施設・設備 の概要	乳児室	1室	調乳室、沐浴室、遊戯室、調理室	
	ほふく室	1室	職員室、教材室、一時保育室	
	保育室	6室	めばえルーム、子育て支援室、児童館	

③ 理念・基本方針（※転載）

【理 念】

子ども一人一人を大切に、保護者から信頼され、地域に愛される保育園

【基本方針】

『心も体もたくましい元気な子』

〈めざす子どもの姿〉

丈夫な子 （自主性）

仲良く遊ぶ子 （協調性）

個性豊かな子 （創造性）

④ 施設・事業所の特徴的な取組（※評価機関において記入）

当園は、永禄9年(1566年)、木下藤吉郎(のちの豊臣秀吉)が一夜にして築いたと伝えられる墨俣一夜城近くに位置している。墨俣保育園は昭和26年5月に旧安八郡墨俣町立保育園として設置され、平成16年1月に現在の地に改築が行われている。その後、平成18年に大垣市と合併し、現在は大垣市立墨俣保育園として運営されている。保育園は児童館と併設しており、地区には図書館・県立大垣桜高校等の社会教育施設が集中し、教育的に恵まれた環境に位置し

ている。また、平屋建ての園舎は広々として、木材をふんだんに使った建物で木のぬくもりが伝わり、子どもたちの保育に適した環境になっている。

墨俣町地域では、活性化のための様々なイベントが催されるが、こうしたイベントに園児が参加するなど、地域との交流もさかんに行われている。大垣市立の保育園として運営管理においての優れた面と、地域の繋がりの中での独自性が上手く融合した園運営が行われている。

⑤ 第三者評価の受審状況

評価実施期間	令和5年5月1日（契約日） ～ 令和5年12月28日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	—

⑥ 総評

◇特に評価の高い点

・年2回の園による自己評価に加え、年1回の保護者評価・評議員による評価を行い、課題を明確にした上で、職員で話し合い、よりよい保育を目指した次年度の保育計画づくりに役立っている。こうした取り組みが、毎年度組織的に行われていることが、評価できる。

・職員には目標管理シートで立てた目標の自己評価を年2回行い、その進捗状況の確認のための面談を年3回も行い、アドバイスや頑張りへの労いが行われている。職員の資質向上に向けた取り組みへの支援が確実にされている。日常的にも、保育日誌にそれぞれの職員に、共感や認め言葉等を記入するなど、きめの細かい指導が徹底している。

・園長が墨俣地域まちづくり協議会の委員となっている。また、園行事の前に地域の方々による清掃・行事への参加、地域のイベントや祭りへの園児の参加、町内の高校との交流など「地域の子どもを地域みんなで育てていく」という関係性で多くの方に見守られながら子育てを行っているという支援体制がある。このモデルが他地域にも広がるとよいと思う。

・園内には子育て支援センターがあり、地域の未就園児が遊ぶ場として気軽に利用できる。在園児の活動を見学でき、年齢に応じた成長発達を保護者が知るだけでなく、支援センター利用者も知ることができ、多様な相談に応じる体制となっていることで、子育て支援の充実が感じられる。

・大垣市立保育園規程、危機管理・調理衛生・虐待・アレルギー・実習生マニュアル、個人情報保護条例などにて子どもの安全・安心な保育が確立されている。

・園長をはじめとして職員一丸となり、保育内容、保護者との関わりなどが共有され、保育に取り組んでいる姿は評価できる。

・市全体で研修を推奨し、研修に参加しやすい体制が構築されている。保育園も外部研修への参加、園内研修を積極的に行い、日々の保育の悩みやつまづきなどを園全体で考え合い、前に進めるように研修されていることは、若い保育士のみならず中堅保育士にとっても良い機会となっている。特に園内研修では、エピソード記録をもとに公開保育を行い、研修に参加できなかった保育士もビデオを視聴し、全職員で話し合い、保育の改善や専門性の向上に努めているところが評価できる。

・小学校との連携は、お互いの授業参観・保育参観で交流を図り、校長・園長との意見交換を行い、園児がスムーズに就学できる体制が作られている。

◇改善を求められる点

・様々な危険が予測される今日であるので、不審者対応は子どもだけでなく、保育士にも子どもを守る対応能力を身につけていく必要が求められる。園外、散歩中などの対応を今後取り入れて欲しい。

⑦ 第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

公立園として大垣市保育課の指導を基に、運営しております。

この度の第三者評価におきまして、高い評価をいただき、身に余る思いです。

今後も職員一同で保育理念『子ども一人一人を大切に、保護者から信頼され、地域に愛される保育』を継続するよう努めてまいります。

ご指導をいただきました点は、保育課や市内公立園と協議をしながら進めてまいります。

⑧ 第三者評価結果

別紙の「第三者評価結果」に記載している事項について公表する。